

Vol.16 高校生の好きな教科・嫌いな教科に関する意識調査

文部科学省の定めによると、小学校、中学校では必修教科9科目と道徳、総合的な学習の時間や特別活動が教科として定められ、高校では普通教科10科目、専門教科13科目と総合的な学習の時間や特別活動が教科として定められています。個人差はありますが、多くの生徒は学校の授業で得意、不得意があると思います。

今回は、好きな教科・嫌いな教科に関して高校生を対象に調査を行いました。

調査概要

調査対象：全国の高校生540名
(男子270名、女子270名)

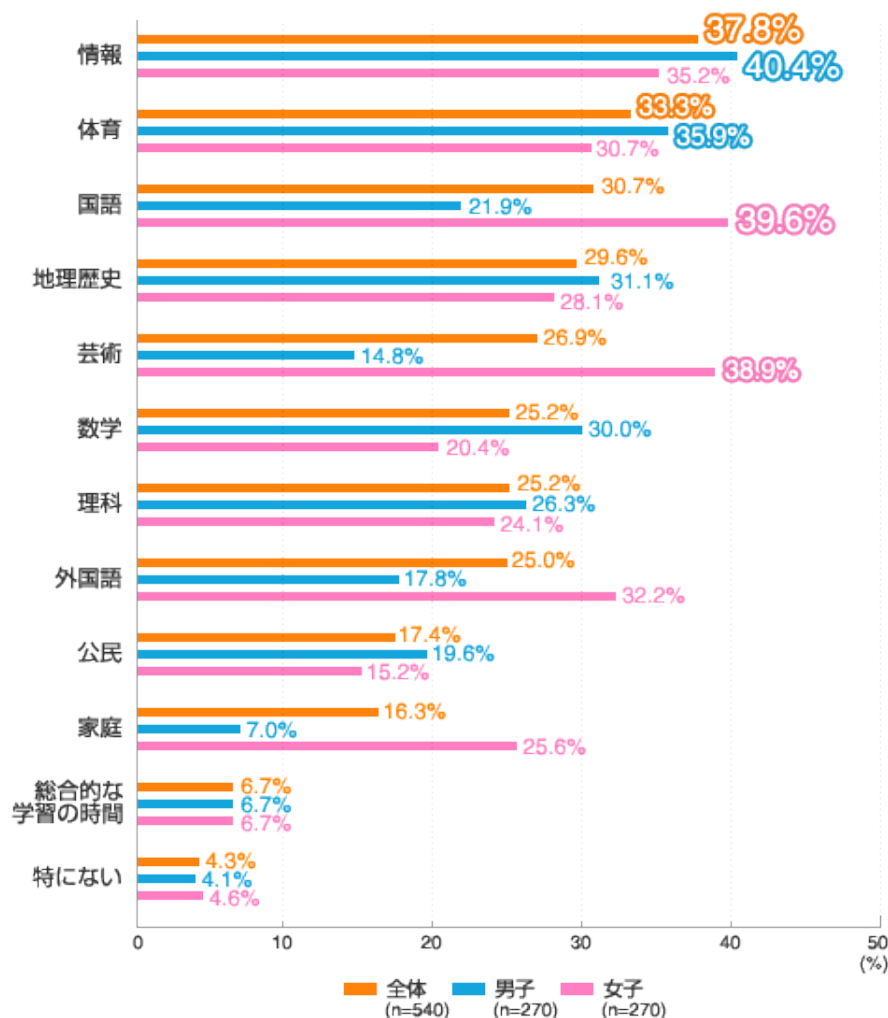
調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2007年2月



Q 高校生の好きな教科は？

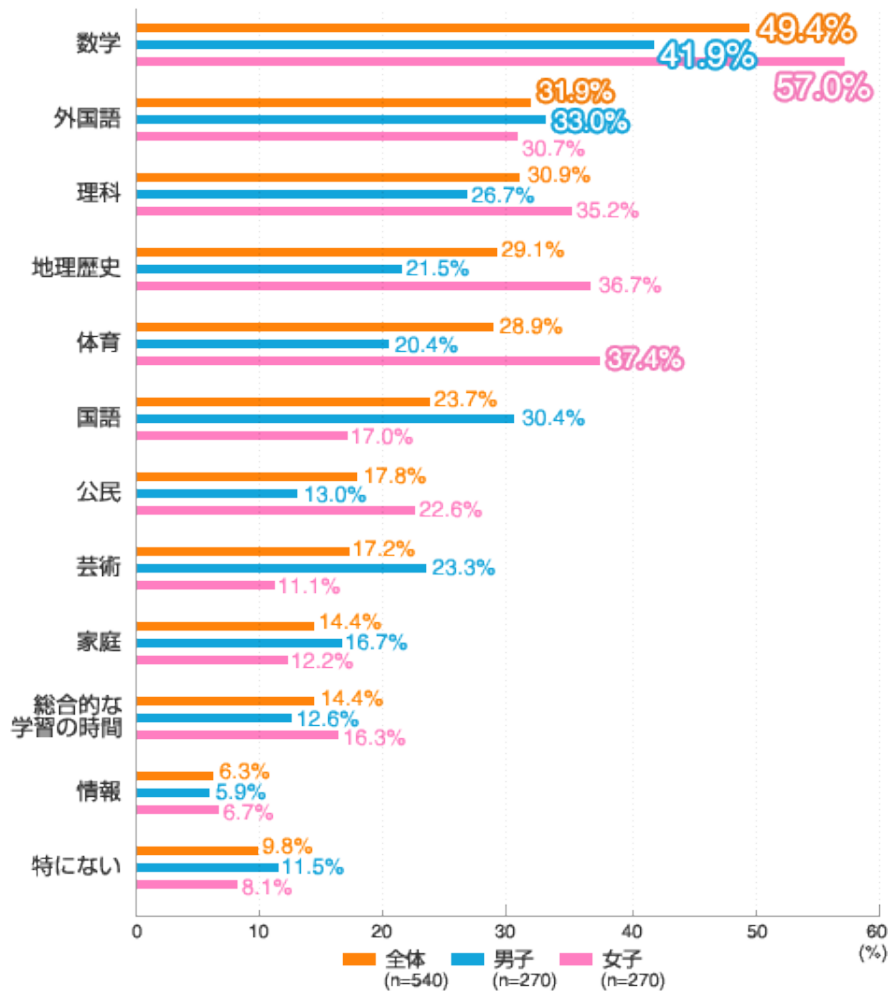
好きな教科として全体の回答が最も多かったのは「情報」で37.8%の回答がありました。男女別で見ると、男子は「情報」40.4%、「体育」35.9%、「地理歴史」31.1%、女子は「国語」39.6%、「芸術」38.9%、「情報」35.2%の順で回答が多く、好きな教科について男女で差が見られます。




【図1】好きな教科は何ですか？（複数回答）

Q 高校生の嫌いな教科は？

嫌いな教科として回答が多かったのは「数学」で、全体で見ると5割近くの回答がありました。男女別にみると、男子は「数学」41.9%、「外国語」33.0%、「国語」30.4%の順に回答が多く、女子は「数学」57.0%、「体育」37.4%、「地理歴史」36.7%の順に回答が多かったです。嫌いな教科も男女で差があることがわかります。



【図2】嫌いな教科は何ですか？（複数回答）

 まとめ

高校生の好きな教科として最も回答が多かったのは「情報」でした。ただし、好きな教科として回答が少なかった教科がイコール嫌いな教科というわけではなく、「公民」、「家庭」、「芸術」、「総合的な学習の時間」は好きな教科として回答が少なかったにも関わらず、嫌いな教科としてあまり多く挙げられていませんでした。

勉強は積み重ねが大切で、ほんの少しのわからないことや小さなつまづきが原因で、嫌いになってしまったり、苦手意識が生まれたりします。一度苦手意識を持ってしまうと、その後、意欲的に勉強することは難しくなり、最終的には学力低下にもつながります。まずは、何がわからないのかを明確にし、しっかり理解することが、苦手意識を和らげる第一歩になるでしょう。

毎月最終
火曜日
更新

kanko ホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

kanko ホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://ozaki.jp/homeroom/>